

令和3年度 第1回 焼津市障害者自立支援ネットワーク全体会 意見等集約表

6 焼津市相談支援事業について

構成員	意見等	事務局回答等
静岡福祉大学	<p>福祉人材の確保、特に高齢分野や障害分野は厳しい状況であることと思います。医療機関、社会福祉協議会、市役所など、相談職・ソーシャルワーカー職として働くことができる就職先を希望する学生も多くみられます（求人数や国家試験の状況によって実際の就職実績とは差異があります）。専門職採用（相談支援専門員）、市採用者（専門職採用）の派遣なども検討してはいかがでしょうか。また、高齢者分野も含めて福祉職の魅力を発信していくことや処遇改善も必要ではないでしょうか。</p>	<p>ご助言ありがとうございます。 相談部会にて共有させていただきます。 また、焼津市においても高齢分野への発信等行っていきます。</p>
静岡県中西部発達障害者支援センターCOCO	<ul style="list-style-type: none"> ・全体の相談作成件数に対する相談支援専門員の人工別作成数の分析。 常勤、兼務等詳細な人工別での作成実態の把握。 ・合理的な実施手法についての具体策はありますか。 例) 提出書類や様式、サ担、事業所モニタの同一日実施等ケース分類に基づく簡便化など ・市内事業所の理解や協力体制の分析はされていますか。 ・分析内容を事業者や行政とどこまでのレベルで共有されていますか。 ・現場だからこそ提案できる事業効率化に向けた内容があると思いますので、その提案があればと思います。 ・一方、現場では解決困難な課題もあるため、その整理と根拠を現場が整理できることが理想ではないでしょうか。必要に応じ、圏域協議会への提案（全体調査等）もアリかと思います。 	<p>ご助言ありがとうございます。 相談部会では、計画作成における省力化・効率化については議論し、モニタリング作成時のサイン受領について別様式を設けることにより、工程を減らし効率化を図ることに成功しました。 また、提出書式を厳選し省力化を図っています。 しかし、実態把握・人工別作成数等の各種分析等を行っていないため、今後部会内で協議・検討を進めていきます。 また、今回いただいたご助言を部会員に伝え今後の協議の発展に繋げていきます。</p>

焼津市社会福祉協議会	市内の相談支援専門員が不足している現状について、市の考え方及び方策は。	焼津市では、相談支援専門員の不足について2つの項目に分けて検討しています。 1 業務の効率化・省力化 このことについては、相談部会において協議を進めます。 2 事業所及び相談支援専門員の不足 新規開設事業所には、相談支援事業所の打診をすること。 国の施策としても、1つの事業所で複数人体制での行うことが推奨されているため、配置人数1人工以下の事業所に人員配置の拡充について打診をしていきます。
------------	-------------------------------------	---